

園芸、工事 児童が取材

ジョブツアー、新聞製作も

美 浜



美浜、若狭両町の小学生に地域の職業や働くことを理解してもらう「三方五湖ジョブツアー」が7日、開かれた。児童16人が美浜町内のトンネル工事や園芸研究の現場に足を運び各職業を体験。併せて取材や新聞づくりを行い、新聞社の仕事も学んだ。

三方五湖青年会議所が

初めて企画し、美浜中央、美浜東、みそみ、三方、気山の5小の3〜6年生が参加した。

まず美浜町生涯学習センターなびあすで、福井新聞社の藪内弘昌・みんなの新聞部長が、取材の仕方や新聞づくりについてアドバイスした。

ノートとペンを持参した児童たちは記者になりきって現場へ。園芸研究センターでは、ミニトマトの栽培技術を開発しているハウスを取材した。

案内した佐藤信仁主任

初めて企画し、美浜中央、美浜東、みそみ、三方、気山の5小の3〜6年生が参加した。

まず美浜町生涯学習センターなびあすで、福井新聞社の藪内弘昌・みんなの新聞部長が、取材の仕方や新聞づくりについてアドバイスした。

ノートとペンを持参した児童たちは記者になりきって現場へ。園芸研究センターでは、ミニトマトの栽培技術を開発しているハウスを取材した。

案内した佐藤信仁主任

初めて企画し、美浜中央、美浜東、みそみ、三方、気山の5小の3〜6年生が参加した。

案内した佐藤信仁主任

を見学したりした。この後、なびあすに戻り、各自が取材した内容を基に思い思いに新聞を製作。みそみ6年の武藤暖大君は「トマトのハウスは最先端の自動機能がすごい」と話し、研究の事も分かったと話した。(青木伸方)



ジョブツアーで、ミニトマトの栽培技術の研究について学ぶ児童。7日、美浜町久々子の園芸研究センター